

200万人広島都市圏構想の実現に向けて

広島広域都市圏では、圏域経済の活性化と圏域内人口200万人超の維持を目指しています。各市町との連携事業などを紹介します。

圏広域都市圏推進課(☎504-2017、☎504-2029)

各市町を「はしわたし」し、多くの魅力を「はっしん」という意味が込められている「はっしー」。圏域内のさまざまなイベントで、圏域自慢の特産品などをPRしています。

マスコットキャラクター
ひろしま都市犬はっしー



広島広域都市圏

広島市の都心部からおおむね60kmの圏内にある、東は三原市エリアから西は山口県柳井市エリアまでの28市町で構成しています。

200万人広島都市圏構想

人口減少、少子化・高齢化が急速に進行する中、広島広域都市圏では、自分たちの市や町だけでなく、28市町が一丸となってこの状況に立ち向かい、圏域経済の活性化と圏域内人口200万人超の維持を目指す「200万人広島都市圏構想」の実現を目指しています。

◆構成市町

・広島県

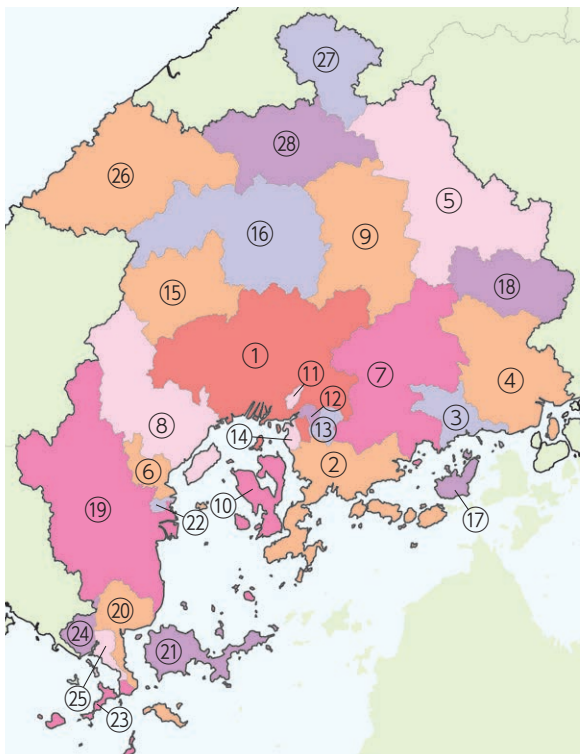
- ①広島市、②呉市、③竹原市、④三原市、⑤三次市、⑥大竹市、⑦東広島市、⑧廿日市市、⑨安芸高田市、⑩江田島市、⑪府中町、⑫海田町、⑬熊野町、⑭坂町、⑮安芸太田町、⑯北広島町、⑰大崎上島町、⑱世羅町

・山口県

- ⑲岩国市、⑳柳井市、㉑周防大島町、㉒和木町、㉓上関町、㉔田布施町、㉕平生町

・島根県

- ㉖浜田市、㉗美郷町、㉘邑南町



広島広域都市圏の目指す将来像と取り組み

経済面、生活面、行政面の三つの側面からさまざまな施策に取り組み、誰もが「住み続けたい」「住んでみたい」広島広域都市圏の形成を目指しています。

経済面	生活面	行政面
ヒト・モノ・カネ・情報が巡る都市圏	どこに住んでも安心して暮らしやすい都市圏	住民の満足度が高い行政サービスを展開できる都市圏
<ul style="list-style-type: none"> ●広島広域都市圏の地域共通ポイント制度「としぽ」の運用 ●SNS「ひろたび」を活用した、圏域の観光スポットや歴史、豊かな食文化などの魅力発信 	<ul style="list-style-type: none"> ●24時間365日体制で電話による救急相談を受け付ける「救急相談センター広島広域都市圏 #7119」の運営 ●各市町を結ぶ広域交通網(公共交通・広域幹線道路)の充実・強化 	<ul style="list-style-type: none"> ●夜間・休日の二次救急医療の確保、保育サービス(病児・病後児保育、一時預かり保育)の広域利用 ●テレビ広報番組などによる圏域内情報の発信 ●図書館の広域利用

はっしー漫遊記(下記)は、今号から新シリーズ「わがまち今昔物語」に。地域の自然、史跡などにまつわる言い伝え、地域ゆかりの人物などを紹介します。

広島広域都市圏
はっしー漫遊記 119
わがまち今昔物語

市は「200万人広島都市圏構想」の実現に向け、近隣27市町と連携・交流を進めています。

広島広域都市圏

呉市 日本洋画の巨匠・南薫造

南薫造は、安浦町の医者
の家に長男として生まれ、
明治・大正・昭和を通じて制
作活動を続け、多くの優れた
作品を残した洋画家です。生
家である南薫造記念館(上写
真)で生誕140年を記念した展
覧会を9月24日(日)まで開催
。初公開となる個人コレクション
を中心とした展示となっています。
瀬戸内の光と風を感じながら、
穏やかに気品に満ちた作品を
お楽しみください。

私が紹介
します!

南薫造展
〜地域で愛された洋画の巨匠〜

呉市文化振興課
渡邊祐樹さん

地域防災リーダーを養成します

市は、防災士の資格取得制度を活用し、各地域で活躍する防災リーダーを養成しています。地域防災のために活動してみませんか。

圏災害予防課(☎504-2664、☎504-2802)



わがまち防災マップを手に活動する様子(佐伯区)

あなたも防災リーダーに

今年度の防災士養成講座の受講者を募集します。地域防災リーダーとして、自分たちが住むまちの防災力を高め、災害に備えませんか。

【対象】次の全てに該当する人

- お住まいの各小学校区自主防災会連合会の会長の推薦を受けた人
- 普通救命講習を受講できる人
- 資格取得後、3年程度、地域の防災活動に携わることができる人
- 地域防災リーダー名簿に必要な個人情報掲載に同意する人

【日時】①12月2日(土)、3日(日)、②来年1月20日(土)、21日(日)の8:30~18:00

※①、②いずれかを受講

【会場】市役所本庁舎

【申込方法】所定の申込書で、9月1日(金)(必着)までに、同課へ。申込書は、市ホームページで。各100人程度

市HP ページ番号 17901

地域防災リーダーとは

市が行う「防災士養成講座」を受講後、試験に合格し、地域で防災活動を率先して行う人のことです。この講座は、民間資格である防災士の資格取得制度を活用しています。

現在、約1,400人の地域防災リーダーが各地域で活躍。自主防災会や町内会、小・中学校などと協力し、わがまち防災マップを活用した防災訓練や防災知識の普及啓発活動などを行っています。

*防災に関する知識と技能を習得した人に、NPO法人日本防災士機構が認証する民間資格

インタビュー

いざ避難するときは、地域のみなで

平成30年7月豪雨災害の時に、近所で発生した土砂災害により避難した経験を持つ矢野さん。藤井さんは、下水管に土砂が流れ込み、マンホールから下水が溢れ、家の前が浸水する経験をしました。

同じ町内の二人は、どのタイミングで、どこへ避難すればよかったのか、防災についてもっと知りたいと思い、一緒に防災士を目指すことにしました。「一人だと不安なことも、二人で、そして地域の人々と力を合



東区地域防災リーダー
矢野啓子さん(左・64)、藤井和代さん(45)

わせてアイデアを出し合うことで、活動の幅が広がっています。防災の分野は男性が多いですが、女性だからこそ気づくこともあります。今後は、日頃から住民同士コミュニケーションをとり、安全な場所を事前に確認し、いざ避難するときには声を掛け合って一緒に避難する体制を整えたい」と話します。